



チームくすのき交流会 実施

7月22日（水）、午後2時～4時、くすのきプラザ研修室で、令和2年度第1回目のチーム「くすのき」交流会が開催されました。参加者は17名。コロナウイルス感染症が広がりつつある中での開催で、グループ内での話し合いも、マスクをして距離をとりながらとなりましたが、参考になる意見がたくさん出されました。お茶もお菓子もないなかでも、なごやかな楽しい交流会ができたのは、さすが、皆様のコミュニケーションスキル！と感じました。ありがとうございました。



交流会の内容は以下の通りです

○新教材 府中町教材9

『「遊ぶ」って、どんなこと？～「子供と遊び」について考える～』のデモ講座を実施しました。

○情報交換会

新教材に対する意見や日頃活動して感じていること、コロナウイルス感染症のなかでどのような活動ができるかについて、グループ内で意見交換を行いました。

新・府中町教材を作りました

これまで、「くすのき」では、親プロ用教材として府中町の独自教材を作ってきました。今年度新しく作った教材は、9番目の府中町教材となります。



新教材

タイトル

「遊ぶ」って、どんなこと？

～「子供と遊び」について考える～

私たちが子供のころと今の子供たちの遊びって、変わってきているって感じたことはありませんか？子供とどうやって遊んだらよいかわからないという保護者の声をきくこともあります。

「子供の仕事は遊ぶこと」といえるくらい、子供にとって、遊びの中で得るもの、学ぶものはたくさんあるはず。それは今も昔も変わらないはずです。

そこで、遊びの意味を考えるとともに、今の子供の遊びを振り返ってもらう教材として作りました。8月から、ひかり保育園の親プロで実施予定です。

お知らせ

補助金を頂きました

これまでの3年間、マツダ財団から補助金をいただき、活動に使わせてもらいました。本当にありがたく、「カフェくすのき」はこの補助金のおかげで、行うことができました。マツダ財団の補助金は3年間が上限なので、今年度はどうしようかと思っていたところ、公益財団法人広島県教育振興会から、補助金10万円をいただけることとなりました。ありがとうございます。

コロナウイルス感染症に配慮した活動が求められる中、ぜひこの補助金で、やりたい活動(ex 講演会をしてほしいなど)がありましたら、お寄せください。



今後の活動予定

8/19 ひかり保育園親づろ

9/9 ひかり保育園親づろ

10/2 ファシリテーター養成講座 基礎編

10/7 ひかり保育園親づろ

10/23 ファシリテーター養成講座 応用編

11/18 ひかり保育園親づろ

12/2 ひかり保育園親づろ

9月からバンビーズでの見守り活動を再開予定です。

決まり次第メールで連絡いたします。

活動のお手伝いのお願いを、
社会教育課からメールで流
しますので、活動ができる方
は返信よろしくお願いいたします。



ほっと一息 コラム

BS世界のドキュメンタリーでやっていた「遊びの科学」というテレビは目からうろこでした。トカゲが段ボール箱に頭を突っ込んで遊んだり、たこが清掃員の出すホースの水に合わせて足を動かしたり、動物も昆虫も遊ぶんです。しかも、たくさん遊んだ蜘蛛は子たくさんになったり、遊ばなかったラットの脳の前頭葉皮質が未発達になったりという観察結果が紹介されていました。前頭葉皮質はストレスに対応する部分だそうで、ハムスターの実験でも、縄張り争いに敗れると、仲間と遊んだ経験のあるハムスターはまたしばらくすると立ち直るそうですが、遊ばなかったハムスターは立ち直れなくなり、非常に憶病になるそうです。すぐ人間に当てはめることはできないかもしれないけど、体力的なことだけではなく、遊びのもたらすものって、計り知れないものだと感じました。そして、今、欧米でも子供たちが外で遊ばなくなってきているそうですが、これが現在の若者の間で情緒不安定や気分障害などが増えていることと無関係ではないのかもしれないと、科学者の方は警鐘をならしておられました。



あとがき



やっと、チーム「くすのき」の会報誌ができました。これからは、定期的に、活動内容や活動予定などを皆さんにお伝えしていけたらと思っています。

「ほっと一息 コラム」は、皆さんからの投稿も募集したいと思います。ちょっといいことに出会ったよ、とか、最近思うんだけど、とか何でも結構です。

ぜひ、「ひとこと」お待ちしております。

こんなことを載せてほしいなという要望、またお便りに対するご意見も、ぜひお寄せください。

